



秋の火災予防運動が始まります！

10月15日～31日まで全道一斉に秋の火災予防運動を実施します。

令和6年中に全国で発生した火災件数は37,036件にのぼり、これはおよそ1日あたり101件、14分に1件の火災が発生したことになります。火災の原因は「たばこ」が1位、「たき火」が2位、「こんろ」が3位となっています。寝たばこやたばこのポイ捨て、屋外でのゴミ焼は絶対にしないようお願いします。

また、これから季節は、暖房器具の使用に伴い火災が発生しやすくなりますので使用の際には点検を行い、燃えやすい物を近くに置かないなど火災予防を心掛けましょう。

就寝中の火災や台所での火災を早期に発見し被害を最小限に抑えるため、住宅用火災警報器を設置しましょう。既に設置されているご家庭は電池の確認など維持管理に努めましょう。また、消火器などの消火器具を備え付けましょう。



火災予防期間中の消防団員の巡回方法が変わります～消防広報もデジタル化～

これまで各家庭に配布していた「防火広報チラシ」について、今年度からはSDGsの取組みとして印刷物を減らすこととし今後は、各家庭にあるIP端末装置での広報と回覧板でお知らせします。消防団員が各家庭を訪問して配布していましたが配布を行わず、消防団車両による広報に切り替えます。期間中には、昼夜を問わず各地区で複数回実施します。地域のみなさまには、今後とも火災予防へのご理解とご協力をお願いいたします。



記念すべき第10回キッズフェア!! 今回はコラボします!!

今年で10回目となる消防キッズフェアですが、例年は海の日に開催していました。今年は開催時期が変更となります。「10月18日(土)」に開催します!! 去年は新たに加わり好評であった救助体験(ロープ渡り)ですが、少しバージョンアップして救助隊員らしさを体験できるようにしますのでお楽しみにしてください!!

また、第10回となる記念として「陸上自衛隊帯広地方協力本部」とコラボレーションします!! 自衛隊車両や自衛隊員の装備品などを展示予定となっています。詳細につきましては、消防署公式SNSまたは村内各施設に掲示しているポスターにてご確認ください。

村民みなさまの来場をお待ちしております。



2025 TSURUI 祭フェスに出店しました！

8月31日（日）、鶴居村ふれあい広場で行われました「2025 TSURUI サイクルフェス」に鶴居消防署から車両展示ブース、AED体験ブース、煙体験ブースを出店しました。手作りの消防車顔出しパネルも好評で、たくさんの方々に楽しみながら消防に触れていただくことができました。改めて足を運んでくださりありがとうございました。



住宅用火災警報器の設置調査にご協力ください！！

鶴居消防署では例年、電話による住宅用火災警報器の設置率調査を実施していますが、試験的にQRコードを利用したアンケート調査方法を行っています。回答についてはお手持ちの携帯電話またはタブレット等のカメラ機能やQRコード読み取りアプリを使用し、下記QRコードを読み取りアクセスしていただくことで回答することができます。アクセス後は「住宅用火災警報器 設置義務のある場所の例」を参照の上、調査フォームよりご回答をお願いします。なお、同じ世帯からの重複回答を避けるため1世帯1回答としますので代表者の方のみご回答願います。

住宅用火災警報器調査用QRコード



調査方法

左のQRコードをスマートフォンなどで読み取り調査フォームにアクセスしてください。

調査期間

通年（いつでもご回答いただけます）

お問い合わせ先

鶴居消防署 予防広報係（電話：0154-64-2344）



X(旧ツイッター)

2025年全国統一防火標語

『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』



インスタグラム



マイナ救急 始まります！

マイナ救急ってなに？

救急隊員が傷病者のマイナンバーカードを使い、過去の診療歴や処方薬などの医療情報を確認できる仕組みです。

これにより、傷病者がより適切な処置を受けたり、搬送先病院の選定がよりスムーズになります。

実施にあたって、救急隊が傷病者の顔と券面上の写真を確認し本人確認を行うため、暗証番号の入力は不要です。救急活動に関係ない情報は救急隊は見ることができません。また、医療情報を閲覧して良いか同意を得た上でマイナ救急を実施します。

なお、意識不明など確認が困難な場合は同意なしで閲覧することもあります。

マイナ救急のながれ



① 傷病者が情報閲覧に同意する

② マイナンバーカードを読み取る

③ 隊員が医療情報を閲覧する

④ より適切な処置や搬送先医療機関の選定につながる！

マイナンバーカードの 保険証登録・携行をお願いします!



マイナ救急の効果

point

1 正確な医療情報を少ない負担で救急隊に伝えられる

- ・救急現場において、救急隊員は飲んでいる薬や病歴などの聞き取りを行っています。しかし病気やけがの症状に苦しみながら質問に答えるのは負担になりますし、本人や家族がそれらの情報を把握していない場合も少なくありません。

マイナ救急では、マイナ保険証にある受診した病院や処方された薬などの正確な医療情報を救急隊に伝えることができます。

point

2 必要な応急処置を受けながら適切な医療機関に搬送してもらえる

- ・救急現場において、救急隊員は傷病者の状態を観察し、応急処置や多くの医療機関の中から傷病者の状態にあった医療機関を探しています。マイナ救急により傷病者の医療情報を把握できれば、より適切な応急処置ができます。また、症状に応じた処置が可能な医療機関やかかりつけの医療機関と連絡を取り、受け入れの調整ができます。

point

3 医療機関到着後、より早く治療を開始してもらえる

- ・救急搬送された医療機関では、緊急手術が必要な場合など、一刻を争うような場面もあります。マイナ救急で入手した医療情報を救急隊が事前に医師や看護師に伝えることで、医療機関側の検査や手術の適切な準備をすることができます。医療機関が治療準備を進めることができれば、傷病者が到着後すぐに治療を受けることができる可能性が高まります。